

令和4年5月27日

No.3



ぶんぶん

発行責任者

校長 有崎 美紀

府中中央小学校ホームページ <http://chuosho.fuchu-town.ed.jp>



チーム中央小



主幹

校長

教頭

「学校は子どもが育つ土壌である」 校長 有崎 美紀
学校は人の集まる場所です。子どもも大人も成長し、育っていく場所です。人は環境に影響を受けながら、人との関わりの中で育ちつつ、自分で自分を創っていくものです。今実践している教育活動が「子どもが育つ土壌を耕すことになっているか」を問い直しながら、教育活動を進めていきます。



1年部

1年生は、入学して早2カ月。朝の支度や着替えなど、てきぱきとできるようになりました。晴れた日には、体をしっかり動かして遊ぶ、元気いっぱいの子どもたちです。
お互いに思いやりをもち、みんなで力を合わせて一つのことをやり遂げる喜びをたくさん味わい、小学校は楽しいところだと感じてもらえるよう、心を合わせてがんばります！



2年部

2年生の学年通信の題は「ぐんぐん」です。体も心もぐんぐん大きくなってほしいという願いをこめました。学年団もみな(?)若く、フレッシュな顔ぶれですが、チームワークの良さには自信があります。一人一人が「ぐんぐん」伸びていけるよう、力を合わせて取り組んでいきます。



3年部

3年生は、「SUN SUN 3年生」を学年目標に、太陽のようにみんなに影響を与えられる3年生を目指して頑張っています。会社を立ち上げ、みんなのため、クラスのために自分たちができる仕事を考え、行動しています。友達と支えあいながら、心を一つに成長していきたいです。



4年部

4年生は、「ガッツ! はなまる4年生」をモットーに、何事にも全力で、みんなで団結して笑顔で取り組んでいます。運動会で表現したソーランのように、一人一人が輝き、どんな困難も、みんなで心ひとつにして乗り越えていく・・・そんな1年になるよう共に過ごしていきたいと思います。ガッツ!💪



5年部

はちの子のサブリーダーとして、色々なことにチャレンジして下学年のお手本になれるように張り切っています！委員会活動や行事などの様々な経験を重ねながら、自ら伸びてほしいと思います。5年生123人で助け合いながら、一丸となって、最高学年に向けてさらに成長していきます！



6年部

6年生は3クラス、交流児童含めて119名です。学校生活の行事面・学習面・生活面の全てにおいてよい手本になり、「あこがれのリーダー」として活躍してくれることを期待しています。5年生でつけた「一丸」の力をもとに、仲間とともに励まし合い、お互いの「繋がり」を問い直しながら、さらなる力が発揮できるよう努力してほしいと思います。



にここ学級

にここ学級は5クラス、21名の子供たちがいます。異学年の集団の中で、時にはけんかもするけれど、助け合ったり教え合ったりしながら、それぞれのペースでがんばっています。笑顔のステキな子供たちです。「一人一人輝く自分」になれるように、チャレンジしてほしいです。



教育支援員



専科



看護師

スクール サポート
スタッフ

事務
拠点校指導教員



スクール
カウンセラー



スクール
ソーシャル
ワーカー



教育相談員



司書



外国語活動



ALT



管理員



業務員



令和4年度学校評価について

今年度の本校の取組についてお知らせします。今年度は、児童自身が山場を意識しながら「自ら伸びる意思」を育てていけるような教育活動を創造していきます。そのために、「問い直しのサイクル」を意識した授業づくりや行事づくりと「生きた言葉」で暮らし（学級）を問い直す「はちの子の心得」を軸にした学級経営の2点を核として取り組んでいきます。児童が主体となる取組を進めることで、自己認識力の高め、教育の質を向上させていきます。目標に向けて、保護者の皆様の協力を得ながら、共に子供たちに力を付けていきたいと思ひます。そのため、今後アンケートをお願いすることもありますので、よろしくお願いいたしします。

A 中期（3年間）経営目標	B 短期（今年度）経営目標	C 目標達成のための方策	主な成熟度		現状	D 評価指標	目標値（%）
a. 「問い直し」の研究推進	児童が自分の言葉で語り、「問い直し」のきっかけが生まれる授業の在り方について研究する。	・読書量が増える活動を推進する。（図書祭り・ビブリオバトル・読書検定等） ・語彙力向上に特化した帯タイムを構築する。	4段階	自分の考えに確信をもったり、自分の考えの修正を迫られたりする。	・1ヶ月の読書冊数3冊以上の児童 ・学力調査の全国平均3ポイント以上の児童 ・「学校楽しいーと」学習意欲8割以上	90%	
			3段階	本から得た思いや考えを他者へ問いかけ、照らす。			
			2段階	本の中から自分の好きな言葉や生き方につながる言葉を探す。			
			1段階	決められた時間に本を読む。			
		・年6回の公開授業や示範授業による相互参観を通し、「問い直し」のある授業づくりに取り組む。	4段階	児童自身が学ぶことに自信をもったり考えの修正を求められたりしながら、新たな問いに出会う授業。（問い直しのきっかけのある授業）	・「学校楽しいーと」学習意欲8割以上	80%	
			3段階	児童の意欲を喚起する教材で授業に驚きをもたせ、児童相互が問いを深めている授業。（教師の思いがある授業）			
2段階	教師の発問によって児童が答えを探し出している授業。（教科書に沿った授業）						
1段階	本時のめあてが教師により提示されている授業。（中央小スタンダード）						
b. 「生きた言葉」が生まれる学級を構築する	暮らしを問う方を意識し、春らしを問う場を意図的に設けた学級を推進する。	・「はちの子の心得」を基に、2ヶ月ごとに暮らしを問い直す。	4段階	「はちの子の心得」を基にした取組により学級への所属意識が高まり、自己の成長が実感できる。	・「はちの子の心得」における振り返りの肯定的な記述 ・「学校楽しいーと」学級集団における通感8割以上	80%	
			3段階	「はちの子の心得」を基に、めざす姿を自覚し、振り返りを重ねている。			
			2段階	「はちの子の心得」の問いを基に、めざす姿を学級で話し合っている。			
			1段階	「はちの子の心得」を意識していない。			
		・月1回「じまのはいく」に取り組み、自然や人・暮らしの出来事（事実）に目を向ける機会を創る。	4段階	俳句の発表を通して、価値観を共有し、自分の考えや価値観を問い直している。	・「学校楽しいーと」学級集団における通感8割以上	80%	
			3段階	俳句の創作過程で「生きた言葉」を吟味し選ぶ活動を通して言葉の面白さを感じている。			
2段階	「じまのはいく」で「生きた言葉」を自覚し、事実を目を向けている。						
1段階	「じまのはいく」で五七五のリズムに言葉を合わせている。						
c. 自己認識の問い直し	児童自身が山場を乗り越え、自ら伸びる意思を育む。	・成長の喜びを実感する学校行事を創造する。 ・中学校の自治活動につながる児童会行事を創造する。 ・児童主導で「お昼 meet」を運営する。	4段階	自分たちで企画運営し、伸びたい姿を自覚しながら、次の行事へつなげることができる。	・「学校楽しいーと」自己肯定感の結果を言葉で自己評価できる児童 ①結果の捉え ②分析 ③どう伸びたいか記述	85%	
			3段階	自分たちで出したアイデア実現に向け、他者と協力し、自分の良さ等が自覚できる。			
			2段階	各種行事にまじめに参加し、自分の良さ等について考えることができる。			
			1段階	教師が声をかけないと動かず、自分の良さ等が分からない。			
d. 児童や大人の環境づくり	児童や大人の環境づくり	・学校たより等で地域へ学校の姿を発信する。 ・コミュニティ・スクール活動を中学校区で交流し、取組を共有する。	4段階	より良いアイデアを創造しながら、児童が育つ環境づくりに参画している。	・教育活動の満足度（保護者アンケート）	85%	
			3段階	各種たより等を見て、サポーター活動の申し出がある。			
			2段階	各種たより・HPが更新され、情報発信を積極的に行う。			
			1段階	各種たより・HPが更新されない。			

本に親しめる環境を～図書館が整備されています～

本校では、読書を通して豊かな言葉を身につけ、その言葉を使って自分の思いや意見を表現する児童を育ていきたいと考えています。

子どもたちにもっと本に親しむ機会をもたせたいという学校の思いを受けて、コミュニティ・スクールのサポーターさんが活動してくださっています。子ども達が本の世界に浸れる空間で、いつでも読書ができるようにと図書室の見守りをしてくださったり、図書室のガラスに壁画を制作してくださったりしています。

いつもたくさんの子どもが訪れる図書館ですが、特に、雨の日の休憩時間は、いつも子供たちでいっぱいです。子ども達がたくさんの本に触れ、本を通して子ども達に豊かな言葉、豊かな心が育ってくれることを願っています。



壁画飾りを子どもたちもお手伝い



図書館の前に
読書スペースが完成！



古い蔵書を整理していただきました！

【お願い】

○6月15日（火）、16日（水）の2・3校時に分散参観を行います。
授業を参観される際には、授業風景の画像、動画の撮影はご遠慮ください。
また、個人情報保護の観点からも、撮影した画像、動画をSNS等に投稿されませんようお願いします。

○梅雨の季節が近づいてまいりました。

4月に配布させていただいた「気象情報で警報が出ている場合について（お知らせとお願い）」を再度お読みいただき、
警報が発令された場合の対応についてご確認ください。

